



インターネットでの情報提供	
情報提供日	7月22日

平成22年7月21日 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
少子化対策課	少子化対策担当	永瀬 久敬	直通：058-272-8077 内線：2681

「ぎふっこカード」がより便利に！

～ スマートフォン用アプリケーション「セカイカメラ」を使って、事前に調べなくても「ぎふっこカード」参加店舗を見つけ、割引等の情報がわかるようになります。～

県では、現在、岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業「ぎふっこカード」に参加いただいている全店舗の情報をスマートフォン用アプリケーション「セカイカメラ（※1）」上で提供するための情報「エアタグ（※2）」として登録する作業を進めており、7月末までに岐阜市内の参加店舗の登録作業が完了し、11月末には県下全域の登録作業が完了する予定です。

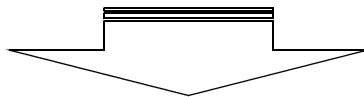
これにより、ホームページや携帯サイトで事前に調べなくても、外出先で「セカイカメラ」を使って、「ぎふっこカード」参加店舗を見つけ、割引等の情報がわかるようになります。

さらに、今年度、「親子でお出かけ大作戦」と銘打ち、子育て家庭が外出しやすい環境を整備するための補助制度を創設し、民間施設における授乳室、おむつ交換台、子ども用トイレ、キッズコーナー、妊婦・乳幼児連れ駐車場の整備を進めており、これらの施設についても「ぎふっこカード」参加店舗の登録完了後に、エアタグの登録作業を進める予定です。

1 「ぎふっこカード」参加店舗を探す方法の利便性向上

【現状】

- ①参加店舗の店頭には貼ってある「ぎふっこカードステッカー」を目印に探す。
- ②県の「ぎふっこカード」専用ホームページや携帯サイトで店舗を検索する。
 - ・（参考）「ぎふっこカード」のホームページ、携帯サイトのアクセス件数は、毎月8万件ほどあり、県のホームページアクセス件数でトップになることも多く、多くの県民に利用されています。



【今後】

- スマートフォンのカメラを通して、参加店舗を見つけ、割引等の情報を確認できる。
～メリット～
 - ・出かける前に自宅のパソコンで調べる必要がなくなります。
 - ・外出先で携帯サイトにアクセスし、店舗名や市町村単位で検索する手間が省けます。
 - ・割引等の情報が店舗に貼ってあるステッカーを探さなくてもすぐに確認できます。

2 「エアタグ」に掲載される参加店舗の情報

- ①所在地、電話番号、営業時間、定休日、HPアドレス
- ②提供するサービス内容（割引、ポイント加算、ソフトドリンク無料等）
- ③店舗等の紹介コメント

3 「エアタグ」整備スケジュール

- ・岐阜市内の716店舗 平成22年 7月末整備完了予定
- ・残りの2,375店舗 平成22年11月末整備完了予定
→登録が完了した店舗から順次、閲覧が可能になります。

※「親子でお出かけ大作戦」事業で整備した民間の授乳室、おむつ交換台、子ども用トイレ、キッズコーナー、妊婦・乳幼児連れ駐車場、また、県や市町村の公共施設に整備されているこれらの施設についても、「ぎふっこカード参加店舗」の登録完了後に、エアタグの登録作業を進める予定です。

<参考>岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業「ぎふっこカード」

(1) 事業内容

県内の18歳未満のお子さんをお持ちの家庭や妊婦さんに「ぎふっこカード」を配付し参加店舗でカードを見せると割引などのサービスが受けられる事業。子育て家庭を社会全体で応援する機運づくりを目的に平成18年8月から開始

(2) 参加店舗

3,091店舗 (平成22年7月13日現在)

<圏域別店舗数>

圏域	店舗数
岐阜	1,165
西濃	539
中濃	461
東濃	514
飛騨	412

<分野別店舗数>

分野	店舗数	分野	店舗数
買う	1,207	金融	706
食べる	409	理・美容院	52
育児・教育・習い事	364	写真	47
見る・遊ぶ	77	クリーニング	64
泊まる	42	その他	101
温泉	22		

※「ぎふっこカード」は、広域連携を実施している富山県 (H19.8~)、愛知県・三重県・名古屋市 (H21.4~) の参加店舗 (約12,000店舗) でも利用できます。

(3) ホームページ・携帯サイトのアドレス (参加店舗の検索等が可能)

◇ホームページ <http://www3.pref.gifu.lg.jp/pref/g-card/index2.html>

◇携帯サイト <http://www3.pref.gifu.lg.jp/pref/g-card/>

※1 「セカイカメラ」について

セカイカメラとは、現実の背景に情報を重ねて表示する「拡張現実」と呼ばれる技術を用いたスマートフォン用アプリケーション。「頓智・(株)」の最高経営責任者の井口尊仁 (いぐち たかひと) 氏とIAMAS赤松正行 (あかまつ まさゆき) 教授とのコラボレーションを始まりとして2008年8月に誕生し、同年10月にソフトピアに進出した新進気鋭のベンチャー企業「頓智・(株)」の最初の製品

スマートフォン内蔵のGPS機能により位置情報を取得し、カメラを通してみる景色に「エアタグ」と呼ばれる情報を貼り付けたり、他のユーザが貼り付けたエアタグを閲覧することが可能であり、個人利用のみならず、観光看板、道案内看板や店舗紹介など、社会的インフラとしての活用も期待されている。

昨年9月にiPhone用として国内リリースが開始されると4日間で10万ダウンロードを記録し話題となり、12月には全世界に向けてリリースを開始。今年6月発売されたau版Android端末「ISO1」にも標準搭載

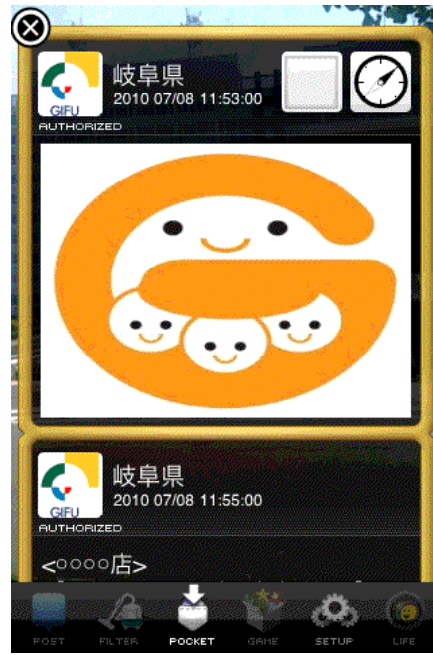
※2 「エアタグ」について

「セカイカメラ」を使い、スマートフォンのカメラ越しに見える風景に付与された情報 (タグ) のこと。利用者はカメラを通じて対象物を見ると、タグに表示される画像や文字などの情報を空間上に確認できる。

<参考>「エアタグ」のイメージ画像



- ・参加店舗にカメラを向けると「岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業」のシンボルマークのエアタグが表示されます。



- ・エアタグをタッチすると店舗情報が表示されます。
- ・画面をスクロールして順次、情報を閲覧



- ・参加店舗で提供するサービス内容が表示されます。
- ・「特典」は割引やポイント加算
「応援」はミルク用お湯の提供やバリアフリー化等のサービス



- ・参加店舗の所在地、電話番号、営業時間、定休日、HPアドレスが表示されます。



- 参加店舗から子育て家庭向けメッセージやお店の紹介コメントが表示されます。